

令和6年度の二俣小の教育について

学校アンケートへの取組をありがとうございました。保護者の方と子供たちのアンケート結果と考察をまとめました。これをもとに今後の二俣小学校について教職員で協議をしました。

1 「児童集計」より

多くの項目で昨年度と同様の数値が見られました。とくに「3先生は勉強を分かるよう教えてくれる」「7先生はがんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする」「2学校で、命の大切さや社会のきまりを教えてもらっている」といった児童と教師の関わりや学校生活に関する項目は、本年度も高い評価となりました。

	質問事項	%	そう思う	だいたいそう思う	肯定	あまりそう思わない	そう思わない
2	学校で、命の大切さや社会のきまりを教えてもらっている。	今年度	72%	25%	97%	3%	0%
		昨年度	66%	29%	95%	2%	0%
3	先生は、勉強が分かるように教えてくれる。	今年度	71%	23%	94%	5%	1%
		昨年度	69%	29%	98%	2%	0%
7	先生はがんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	今年度	65%	29%	94%	4%	3%
		昨年度	64%	26%	90%	7%	3%

前年度より数値が高くなった項目は「1学校や生活などについて、学校の先生に相談しやすい」と「7先生はがんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする」です。教師も子供たちも、あたたかな関係を築きながら生活できていることをうれしく思います。今後も学級づくりや日頃のコミュニケーションを大切にする二俣小であり続けたいです。

また、「14 わたしは、家での勉強をしっかりとやっている」は、13%上昇しています。書き取りやドリルなどのやられる宿題を減らし、自主勉強や調べ学習など主体的に取り組む家庭学習になるように、発達段階に合わせて家庭学習を考えています。

1	学習や生活などについて、学校の先生に相談しやすい。	今年度	48%	37%	85%	12%	3%
		昨年度	42%	40%	82%	14%	5%
14	わたしは、家での勉強をしっかりとやっている。	今年度	56%	32%	88%	11%	1%
		昨年度	40%	35%	75%	14%	10%

課題となる項目としては「11 わたしは進んであいさつをしている」「16 わたしは、早寝早起きをしている」「12 わたしは、思いやりのある言葉遣いをしている」など、生活習慣に関する項目が挙げられます。これらの項目は、学校だけでなく、御家庭での協力も不可欠なものです。学校の取組にこれからも御理解・御協力をお願いします。

また、「3先生は、勉強が分かるように教えてくれる」「4先生は、「知りたい」「やってみよう」と思うような授業をしてくれる」では、前年度より数値が低くなりました。教科担任制を進めたり、校内支援体制を有効活用したりして、全員が分かる授業を目指し進めていきます。また、6時間授業が多く、毎日授業をつめこんでいる状態では、体力も集中力も持続できません。7年度は、余裕を持った授業日課にしていきます。

11	わたしは、進んであいさつしている。	今年度	41%	37%	78%	14%	8%
		昨年度	40%	34%	74%	20%	7%
12	わたしは、思いやりのある言葉遣い(ふわふわ言葉)をしている。	今年度	35%	41%	76%	18%	6%
		昨年度	32%	43%	75%	17%	8%

2 「保護者集計」より

半数以上の項目が90%もしくはそれ以上の若干高い数値となりました。概ね本校の教育活動を肯定的に評価していただけたことが分かりました。一番肯定的な意見だったものは、昨年度に引き続き項目3と6です。今後も学校や学年便り、ホームページやさくら連絡網といったもので、学校教育への御理解・御協力をいただけるよう、日々の子供たちの活動や成長の情報をいち早く発信していきます。

3	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報を発信している。* 他に携帯連絡網の活用は随時、参観会は年3回など	今年度	45%	50%	95%	4%	1%
		昨年度	64%	32%	96%	4%	1%
6	学校は、学習環境を整えるために必要な教材を適切に購入している。(学年費について)	今年度	42%	56%	98%	3%	0%
		昨年度	46%	52%	98%	2%	0%

課題として挙げられるのは、「16 お子さんは進んであいさつしている」と「17 お子さんは思いやりのある言葉遣いをしている」です。それぞれ数値は低く、さらに昨年度より下回っています。子供たちのアンケートにおいても課題となる項目です。学校が楽しく、安心できる場所となるためには、これらの項目の向上が大切になってきます。特に気になることは、言葉遣いです。学校でも話し合っています。御家庭でも、お子さんと今一度言葉遣いや公共の場でのマナーを話し合っていたきたいです。

16	お子さんは、進んであいさつしている。	今年度	19%	49%	68%	25%	7%
		昨年度	21%	50%	71%	26%	3%
17	お子さんは、思いやりのある言葉遣いをしている。	今年度	13%	62%	75%	23%	2%
		昨年度	21%	60%	81%	18%	1%

アンケートの御協力、ありがとうございました。子供たちがより充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、力を合わせて指導に当たって参りたいと思います。

3 学校運営委協議会のご意見

<授業参観より>

- 昨年度よりも落ち着いた学級が多くなった。教室が温かな雰囲気包まれている。
- 集中して取り組むことができていた。特に5年生の変わりように驚いた。日頃の先生方の努力を感じた。
- 人懐っこい子が多く、人との関わりを楽しんでいる。
- 掲示がとても良い。子供にとってレスポンスがあることは喜びにつながる。
- 細かな指導で児童のやる気を高めていた。また、話し合い活動に普段からの積み重ねが見られた。
- 授業での取り組みに主体性を感じた。一見ばらばらなことをやっても個々で目標をもって取り組んでいた。
- △落ち着かない学年も見られた。

<来年度の教育課程について>

- あいさつが課題である。委員会で話し合ったり目標を持たせたりして、自分たちの意識を変える必要がある。
- 言葉遣いは学校と家庭が協力して取り組む必要がある。

○持久走記録会がなくなることを寂しく感じる。体育の中でみんな一緒に取り組むものや、目標を持って協力する活動を取り入れてほしい。

○3年生までの学年担任制の取り組みは良いと思った。相談できず悩みを抱え込む子供が安心して生活ができる学校にしていってほしい。発達段階を考えても、3年生以下で取り組むことは意味がある。さらに発展させるためには、合同体育や合同音楽を取り入れてみてはどうか。

4 令和7年度について

① 授業時数

授業時間数の見直しを行いました。標準の時間数にし、週あたりの授業数を減らします。時数を確保するために、令和6年度よりも授業日数が4日多くなります。清竜中学校よりも1・2学期の終業式が1日遅くなります。また、金曜日に朝活動の時間を5分伸ばして15分にし、授業を行います。モジュールの時間といいます。

	月	火	水	木	金
1年生	5	5	4	5	4
2年生	5	5	4	5	5
3年生	5	6	5	5	5
4年生	5	6	5	6	5
5年生	5	6	5	6	5
6年生	5	6	5	6	5

② 年間計画

1年生のスタートカリキュラムを行います。学期当初は3時間授業や4時間授業を行います。また、2年生以上の学年も学期始めは、疲れるものです。授業時間を少しずつ伸ばしていき、学校生活のリズムに慣れさせていきます。

令和6年度7月は暑さのため運動禁止が続きました。令和7年度は、それを見越し、7月中旬からなかよし日課にし、昼休みをやめて、早く帰ります。

③ お話会・面談

今年度に引き続き、子供と担任が話をする日を学期に1回ずつ計3回設けます。また、4月と9月に保護者面談を全員実施します。12月は希望面談を実施します。

④ 学年担任制

1～3年生は、学級担任は1人ですが、学年内で互いの学級を見ていくようにします。2つの学級を2人で見ていくことで、児童が相談をしやすくなります。また、複数の目で子供たちを見ることができます。具体的には、4月に道徳や学級活動を担任が交代して授業を行ったり、給食の時間に担任が交代したりします。

⑤ モジュール学習

学習の定着を図るために、反復練習が必要な学習をモジュールの時間に行います。年間計画を立て、新出漢字や基本的な計算を、金曜日の朝学習の時間に行います。

⑥ 持久走記録会

児童の体力の向上を図り、運動することが好きな児童を増やすために持久走記録会のやり方を変えていきます。現状としては、持久走(記録会)が嫌いだしやりたくない、どれだけ練習をがんばっても順位が上がらなければ意味がない、と考えている児童が多いです。運動カードを年間通して使用することで、みんなが運動に親しみ、体力を高めることを目指します。記録会という形はなくします。

⑦ ペーパーレス化

さくら連絡網を活用することで、子供の手紙の渡し忘れを防いだり、保護者が電話に出られなくても連絡を伝えることができたりと、メリットを多く感じています。学校でも資源の節約ができています。現状は、紙とさくら連絡網を状況によって使い分けていますが、令和7年度から紙での連絡を減らしさくら連絡網で連絡を伝えます。具体的には、学年だよりや、先日行われた転出調べをペーパーレス化していきます。不都合が生じた場合は、担任に連絡をしてください。柔軟に対応をします。

⑧ ボート体験について

例年四小連合教育の一環として6年生が行ってきたボート体験を来年度以降実施しません。経営母体が変わり、ボートのやり方を教えてくれる講師の確保が難しくなったことや、ボート大会の前後では会場が使えなくなったことが理由として挙げられます。来年度、6年生は下阿多古小学校で連合教育を行います。

⑨ 学習発表会について

平日に行います。週6日授業日があるのは、子供の生活リズムに合わないためです。